

平成31年3月31日

新宿区長 宛て

団体名 NPO法人10代・20代の妊娠SOS新宿
ーキッズ&ファミリー

所在地 新宿区西早稲田三丁目8番11号
(フリガナ) サトウ ハツミ

代表者氏名 代表理事 佐藤 初美

新宿区協働推進基金助成金事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第10条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 収支計算額

| | | |
|--------|-----------|---|
| 収入 | 1,010,825 | 円 |
| (内助成金) | 480,000 | 円 |
| 支出 | 1,010,825 | 円 |

2 助成事業

| | |
|------------|--|
| 事業名 | 10代、20代の「望まない妊娠」や困難を抱えている若者の相談支援事業 |
| 実施の日時又は期間 | 平成30年6月から平成31年3月 |
| 対象者の範囲及び人数 | 10代、20代の「望まない妊娠」や困難を抱えている若者及び家族 若年出産で、孤立している親子の育児相談、他の親子との交流促進 不特定多数 |
| 事業内容 | <p>① 10代、20代の「望まない妊娠」や困難を抱えている若者の相談支援</p> <p>メール相談 24時間、年中無休 電話相談 18時から24時（継続相談は日中も実施）年中無休 訪問相談 随時、年中無休 同行支援 随時、年中無休</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待の中には医療ネグレクトの児童もいるので、夜間の救急受診や日中の病院受診に同行して一人で受診できるように支援している。 ・高校、専門学校の見学会、説明会、中高の三者面談等に同行支援 ・要保護児童、要支援児童の相談対応 随時、年中無休 ・虐待を受けて保護や要支援児童の場合は、新宿区要保護児童対策協議会の登録団体なので、児童相談センター、子ども総合センター、保健センター等関係機関、中学校、高校、専門学校と連携して対応し、行政では対応しきれない支援を担っている。 |

| | |
|-----------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・新宿区要保護児童対策協議会の個別サポートチーム会議に参加。 ② 広報・啓蒙事業 <ul style="list-style-type: none"> ・宣伝活動 ・体験イベント事業 ・親子の交流を深め合うつどい ・講演活動事業 |
| <p>具体的な活動状況</p> | <p><u>1. 相談支援</u></p> <p>※月別内訳</p> <p>● 6月分 新規相談件数 = 21件 ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 492件 ・電話相談（年中無休）対応件数 = 136件 ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 11件</p> <p>● 7月分 新規相談件数 = 35件 ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 559件 ・電話相談（年中無休）対応件数 = 135件 ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 4件 ・新宿区要保護児童対策協議会の個別サポートチーム会議に参加</p> <p>● 8月分 新規相談件数 = 20件 ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 425件 ・電話相談（年中無休）対応件数 = 184件 ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 0件 ・新宿区要保護児童対策協議会の個別サポートチーム会議に3回参加。</p> <p>● 9月分 新規相談件数 = 38件 ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 776件 ・電話相談（年中無休）対応件数 = 188件 ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 0件</p> <p>● 10月分 新規相談件数 = 29件 ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 477件 ・電話相談（年中無休）対応件数 = 164件 ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 1件</p> <p>● 11月分 新規相談件数 = 25件 ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 238件 ・電話相談（年中無休）対応件数 = 58件 ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 0件</p> <p>● 12月分 新規相談件数 = 20件</p> |

- ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 384件
- ・電話相談（年中無休）対応件数 = 124件
- ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 0件

● 1月分

新規相談件数 = 60件

- ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 412件
- ・電話相談（年中無休）対応件数 = 160件
- ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 0件

● 2月分

新規相談件数 = 38件

- ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 451件
- ・電話相談（年中無休）対応件数 = 155件
- ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 1件

● 3月分

新規相談件数 = 29件

- ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 607件
- ・電話相談（年中無休）対応件数 = 132件
- ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 4件

2. イベント（会議）の開催

● 歌舞伎町パトロール体験

- ・実施日 8月3日（金）=参加人数22人

● 第6回荒巻シャケさんと一緒に笑って歌って遊ぼう

- ・実施日 3月8日（金）=参加人数 親子22組55人

● 第7回荒巻シャケさんと一緒に笑って歌って遊ぼう（親子のつどい）

- ・実施日 3月22日（金）=参加人数 親子18組 37人

● 2018年度新宿区協働推進基金助成事業報告会

- ・実施日 3月8日（金）=参加人数 19人

参加人数は、目標の半分であったが、区民及び学生及び支援を考えている団体や個人が遠方は奈良県や愛知県からの参加もあった。

● 歌舞伎町や繁華街をパトロール

毎月、ボランティアの協力を得て、歌舞伎町や繁華街をパトロールし、中高生に声かけや、法人の相談窓口紹介のチラシや名刺サイズのカードを配布して相談窓口の周知を図り、チラシやカードを店内に設置してくれている歌舞伎町の店舗やネットカフェ、漫画喫茶、夜の薬局（ニュクス薬局）等を巡回し、心配な中高生や青少年少女の情報交換を行う。

- ・実施日

6月15日（金）=参加人数7人・11月17日（土）=参加人数5人
 7月13日（金）=参加人数6人・12月29日（土）=参加人数4人
 8月3日（金）=参加人数22人・1月19日（土）=参加人数6人
 9月28日（金）=参加人数5人・2月16日（土）=参加人数4人

10月20日（土）＝参加人数3人・3月16日（土）＝参加人数5人

●相談スタッフ定期勉強会（10回）

毎月1回開催 居場所「みんなのおうち」参加予定者数6人

毎月の相談支援ケースの事例検討を行い、対応及び今後の支援方針を見直している。また、相談スタッフのスキルアップ研修も兼ねており、それぞれが参加した専門研修の共有や対応の難しいケースのロールプレイなどを行っている。

・実施日（10回）

6月 8日（土）＝参加人数4人

7月21日（土）＝参加人数5人

8月31日（金）＝参加人数5人

9月22日（土）＝参加人数6人

10月20日（土）＝参加人数6人

11月17日（土）＝参加人数4人

12月 8日（土）＝参加人数5人

1月19日（土）＝参加人数5人

2月16日（土）＝参加人数6人

3月16日（土）＝参加人数6人

●運営会議の開催（10回）

・毎月1回開催 居場所「みんなのおうち」

実施日6月17日（日）＝参加人数5人

7月15日（金）＝参加人数4人

8月24日（金）＝参加人数4人

9月21日（金）＝参加人数3人

10月19日（金）＝参加人数4人

11月16日（金）＝参加人数4人

12月 7日（金）＝参加人数5人

1月18日（金）＝参加人数4人

2月15日（金）＝参加人数4人

3月15日（金）＝参加人数3人

●支援者打ち合わせ（随時）

クラウドファンディング支援ボランティアやパトロールボランティアと必要に応じて打ち合わせ及び意見交換会を実施

実施日6月16日（土）＝参加人数4人

7月15日（金）＝参加人数8人

8月26日（日）＝参加人数4人

10月20日（土）＝参加人数7人

12月 9日（土）＝参加人数5人

2月17日（日）＝参加人数7人

3. 広報活動

●講師派遣及び取材を受ける

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・活動の周知及び中高生や青少年少女の抱えている課題や現状を紹介し、広く理解を深める啓蒙活動。 ・実施日 6月 2日＝日刊スポーツの取材及び掲載 <li style="padding-left: 2em;">6月 4日＝社会福祉法人さゆり保育園でスーパーバイズを行う。 <li style="padding-left: 2em;">6月 4日＝TV朝日 abemaTV 報道番組に代表が出演 <li style="padding-left: 2em;">6月10日＝立正佼成会新宿教会の表彰候補になり取材を受ける（12月1日に、区長ご列席の中、受賞） <li style="padding-left: 2em;">7月 6日＝パルシステムの取材を受ける <li style="padding-left: 2em;">6月11日＝毎日新聞の取材 <li style="padding-left: 2em;">7月27日＝鉄道弘済会主催第55回社会福祉セミナーで講師（活動紹介） <li style="padding-left: 2em;">11月22日＝内閣府男女共同参画局において「若年層に対する性的な暴力の効果的な予防啓発及び被害者支援に関する調査研究事業」ヒヤリング調査に応じる <li style="padding-left: 2em;">2月14日＝第122回市民とNPOの交流サロンで「性に関するSOSに寄り添い、若者・子供の命と家庭を守る」テーマで活動紹介 <li style="padding-left: 2em;">3月19日＝東京新聞の取材 <li style="padding-left: 2em;">3月24日＝西早稲田リサイクルセンターにおいて、新宿区のフードドライブの勉強会で、活動紹介を講師としてさせていただく。。 ●HP、フェイスブック、ツイッターの更新、チラシ、カードを作成 ・随時、HP、フェイスブック、ツイッターの更新 ・7月印刷作成（チラシ、カード） ・2月印刷作成（事業報告書） |
| <p style="text-align: center;">事 業 の 成 果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●第122回市民とNPOの交流サロンや新宿区のフードドライブの勉強会で、活動紹介をさせていただき、町会の役員の方々をはじめ、広く区民の方々に10代から20代前半の青少年少女の現状と課題を理解していただく機会になった。 ●広範な関係機関・団体との連携の広がり ・それぞれの関係期間と顔の見える関係になり、連携がスムーズになっている。10代の若年妊産婦が、保健センターで母子手帳を受け取る時に、様々なサービスの説明を受けてもほとんどが理解できていない現状を保健師、助産師の皆さんに理解を深めていただくことができ、母子手帳を渡す最後に、出産一時金の再説明と「お金がなくても出産費用は心配しないで」の一言を、各保健センターで実施して下さるようになった。 ・若年のDV被害や犯罪に巻き込まれている時に、新宿警察署の生活安全課が機敏な対応をしていただけるようになり、私たち法人が動けない時に、ケースの少女を代わりに病院に同行して下さるなど密な連携が図れるようになっている。 |

- ・日曜祭日の夜間は、なかなか東京都女性相談センターも手薄で夜間の保護が警察を通して困難な時があるが、連携している病院が社会的入院をさせて下さるなど、きめの細かい対応ができるようになっていく。
- ・地域で、子ども達に関わっていらっしゃる主任児童委員の方々や民生委員の方々からスーパーバイズの依頼も増え、早めの対応が子ども達にできるきっかけになっている。

●連携している関係機関

- ・新宿区健康予防課（性感染症検査等）・新宿区健康づくり課（母子手帳の発行及び各保健センター・女性健康センター）・新宿警察署・児童相談センター・新宿区立子ども総合センター・新宿区立信濃町子ども家庭支援センター・新宿区立北新宿子ども家庭支援センター・新宿社会福祉協議会・都立大塚病院・板橋区医師会病院・東京医大病院・竹下医院（産婦人科）・東京女子医大病院・聖母病院・国立国際医療研究センター・環の会・ニクス薬局（歌舞伎町の夜の薬局）・新宿駆け込み寺、パルシステム地域支援本部・新宿区明和会商店会・全国妊娠 SOS ネットワーク・法テラス

- 10代から20代前半の相談件数増加し、相談全体の70%を占めている相談件数も前年度の1.5倍に増加している。

※2018年度6月～3月の総数

新規相談件数 = 315件

- ・メール相談（24時間、年中無休）対応件数 = 4,821件
- ・電話相談（年中無休）対応件数 = 1,436件
- ・訪問相談及び同行支援（随時、年中無休）対応件数 = 106件
ホームページのアクセス数が10万件を超えており、若者の中に、相談窓口が浸透していることがわかる。
- ・子ども達から、口伝いで法人の相談窓口が伝わっており、「友達に教えてもらった」との相談もある。
- ・今年度も、10代で風俗で働いて居た少女が2名、私たち法人が寄り添う中で、風俗から脱却でき昼間の仕事に就労することができ、継続できるように支援している。

●第6回・第7回荒巻シャケさんと一緒に笑って歌って遊ぼう

第6回、第7回とも定員以上の参加申し込み（60組）があり、当日、子どもの病気で参加できなかった親子もいるが、区内に住む乳幼児を育てている親子40組92人が交流を深めることができた。参加申し込み時点でも、「一度も親子で外の催し物に参加したことがないが大丈夫か？」といった問い合わせもあり、その中で育児相談に应诉たりした。アンケートにおいても参加者の満足度が97%と高く、来年も参加したいが100%と参加者からの評価が高く、乳幼児を育てている区民に広く貢献できたものと評価する。

一般事業収支決算書

| 費目 | | 決算額 | 内 訳 |
|------------------|-----------------|-------------|--|
| 支 出 区 分 | ①使用料及び賃借料 | 3,200 円 | 戸塚地域センター多目的ホール午前利用@1,100 円×2 日 = 2,200 円・戸塚地域センター会議室 A・B@1,000 円×1 日 |
| | ②印刷製本費 | 41,000 円 | チラシ印刷 A4両面@7 円×2,000 枚×2 種類=28,000 円 名刺サイズカード両面(子どもたちに手渡し用) @8 円×1,000 枚=8,000 円 報告集A4サイズ@50 円×100 部=5,000 円 |
| | ③消耗品費 | 101,738 円 | インクカートリッジ 81,351 円 A4コピー紙 5,419 円 封筒・文具用品 9,018 円 その他 5,950 円 |
| | ④委託費 | 50,000 円 | IT及びホームページ維持管理委託費 @5,000 円/月×10月=50,000 円 |
| | ⑤講師謝礼 | 122,000 円 | ・歌舞伎町パトロール体験講師謝礼 20,000 円 ・勉強会10回の中で、1人×@3,000×10回=30,000 円、 1人×@3,000×4回=12,000 円 親子のつどい@30,000 円×2 回=60,000 円 |
| | ⑥その他謝礼 | 100,000 円 | ボランティア謝礼@2,000 円/人×5 日×10 か月=100,000 円 |
| | ⑦交通費 | 20,432 円 | 同行交通費 A 7,366 円 B 6,786 円 C 6,280 円 |
| | ⑧保険料 | 14,776 円 | ボランティア保険料 7,000 円 ・イベント保険料 7,776 円 |
| | ⑨その他諸経費 | 125,448 円 | ・電話相談通信費 9 か月で 16,860 円 ・メール相談通信費 10 か月で 61,116 円 郵便代 47,472 円 |
| | ⑩人件費 | 144,000 円 | (団体構成員分)①33,000 円 ②30,000 円 ③30,000 円 ④30,000 円 ⑤27,000 円 150,000 円のうち、6,000 円は助成対象外経費 |
| 事業費(①から⑩の合計) | | 722,594 円 | |
| ⑪ファンドレイジングに関する経費 | | 23,775 円 | 寄付金募集ダイレクトメール送料 23,775 円 |
| 助成対象経費(事業費+⑪) | | 746,369 円 | |
| 余剰金(A) | | 0 円 | |
| 助成対象外経費 | | 264,456 円 | 人件費 6,000 円(助成対象外分) ノートパソコンの購入 230,376 円 新規購入パソコン初期設定・サポート料依託費 28,080 円 |
| 事業総額 | | 1,010,825 円 | |
| 収 入 区 | 内 容 | 決算額 | 内 訳 |
| | ①事業収入(参加費、資料代等) | 19,000 円 | 活動報告会資料代 @1000 円×19 人 |
| | ②その他の収入 | 511,825 円 | サポーターによる寄付金収入 |

| | | | |
|--|-------------|-----------|-------------|
| | ③助成金交付額 | 480,000 円 | |
| | ④団体負担金 | 0 円 | |
| | 収 入 総 額 | | 1,010,825 円 |
| | 余 剰 金 (B) | | 0 円 |
| | | | |
| | 返 還 金 | | 0 円 |

一般事業自己評価表

※事業実施における成果や実施にあたっての課題を記載してください。

| 評価のポイント | 自己評価 |
|--|---|
| 事業計画及びスケジュールに沿って事業を実施できたか。 | <ul style="list-style-type: none"> 綿密に計画立案をしていたので、スケジュールに沿って、各事業を実行し、推進することができた。 |
| 実施にあたって、必要な人員体制がとられたか。安全確保がなされたか。 | <ul style="list-style-type: none"> 歌舞伎町パトロール体験は、先頭、中間、最後尾にスタッフを配置し、参加者の安全を図った。 親子のつどいは、保育士のボランティアを配置し、親元から離れた乳幼児の安全確保を行った。 いずれの行事にも参加者に行事保険を手立てしたが、事故無く安全に終了した。 |
| 事業を通じて、多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなったか。 | <ul style="list-style-type: none"> 歌舞伎町等の繁華街における中高生や20代前半までの青少年少女を取り巻く危険性や実態を、パトロール体験等を通してアンケートの感想にもあるように理解を深めることができた。 啓発活動として、新宿NPOネットワーク協議会主催の「市民とNPOの交流サロン」や、新宿区の取り組みであるフードドライブ勉強会で、区民のみなさんに、10代から20代前半の青少年少女の現状と課題や活動報告を行い、区民が参加できることを話し理解を広げることができた。 |
| 地域課題や社会的課題に対してどのような成果や効果があったか。今後、見込まれる効果はどのようなものか。 | <ul style="list-style-type: none"> 歌舞伎町パトロールは、募集10人に対して22人の参加を得た。体験を通して相談窓口の周知拡大や、様々な関係機関と連携が広がり、10代から20代前半の青少年少女を見守り支援をできる機関や人が増えた。 新成人800人余りに相談窓口のチラシとカードを一人ずつに手渡すことができ、一人で悩まず相談できる窓口の周知を多くの新成人に行えた。 親子のつどいは、各保健センターや子ども家庭支援センター、母子生活支援施設の協力を得て、合計40組92名の親子が参加し盛況であった。昨年度に参加した親子に勧められて初めて参加した親子もいた。 その中でママ友が新しくできるなど、孤立していた親子につながりができたり、育児に疲れていた母親を解放し楽しい時間を過ごすしてもらったり、孤立しないで親子で出かける勇気やつながる楽しさを知るきっかけ作りの機会になっている。 |

| | |
|--|--|
| <p>団体の先駆性や専門性を活かすことができたか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・国内で妊娠 SOS の民間団体は全部で 6 団体であるが、10 代から 20 代前半の青少年少女とその家族に特化して相談支援をしている団体は私たちの団体だけである。様々な関係機関が対応に苦慮しており、連携することで私たち法人のノウハウを広く伝えることができ、そのことで連携も広がっている。 【3 月末現在の連携機関】 ・新宿区健康づくり課（母子手帳の発行）・新宿区健康予防課（性感染症検査等）・新宿区立保健センター 4 センター・新宿区立女性健康センター・新宿警察署・児童相談センター・新宿区立子ども総合センター・新宿区立信濃町子ども家庭支援センター・新宿区立北新宿子ども家庭支援センター・母子生活支援施設 ・新宿社会福祉協議会・都立大塚病院・板橋区医師会病院・東京医大病院・竹下医院（産婦人科）・東京女子医大病院・聖母病院・国立国際医療研究センター・環の会・ニクス薬局（歌舞伎町の夜の薬局）・新宿駆け込み寺、パルシステム地域支援本部、新宿区明和会商店会、全国妊娠 SOS ネットワーク等 |
| <p>経費見積りは適正だったか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・助成対象外経費で、メール相談専用ノートパソコンを購入したことに伴う経費が発生したが、他は、ほぼ経費見積りに沿って実行できた。 |
| <p>（今回の事業を次年度以降も継続していく場合）継続性や発展性が期待できるものとなったか。資金確保に努めたか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの事業も、アンケート結果が示すように参加者が継続と必要性を求めている。 ・法人の Facebook 担当を新たなボランティアが引き受けて下さり、より多く情報発信をすることで、29 年度は寄付金は 39 名からであったが、今年度は、3 月 15 日現在で 121 名に 3 倍増である。安定した資金確保に向けて 2020 年度に認定 NPO 法人を目指している。 |
| <p>事業の実施にあたって、課題や問題点はあったか。どのような対策が考えられるか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口が広く周知するに伴って相談件数も増加しており、相談スタッフを増員させる必要がある。特に、夜間対応の相談スタッフを獲得が必要であるが、支払いができる安定的人件費の確保が急務である。 |

その他

*参加者アンケートの結果を報告してください。

*事業の成果物(冊子等)、事業の開催時の写真等提出できるものがある場合は、添付してください。

(2018年8月3日・歌舞伎町パトロール体験)



(2019年3月8日第6回荒巻シャケさんと親子で笑って歌って遊ぼう)



(2019年3月22日第7回荒巻シャケさんと親子で笑って歌って遊ぼう)



NPO 法人 10代・20代の妊娠 SOS 新宿—キッズ&ファミリー

第6回 (3月8日)・第7回 (3月22日) 荒巻シャケさんと親子のつどい参加者アンケート
集約結果

参加者親子 (第6回・7回合計) 40組 92名・アンケート回収率 87.5%

お父さんお母さんご一緒にの参加も、お母さんとお子様二人の参加もありました。

1. お子さんと楽しむことができましたか。

| ① 大変楽しめた | ② よく楽しめた | ③ 楽しめた | ④ やや楽しめなかった | ⑤ 楽しめなかった |
|----------|----------|--------|-------------|-----------|
| 82.9% | 14.3% | 2.9% | | |

2. 1で④、⑤と思われたところはどんなところでしょうか。

3. 今後も、荒巻シャケさんと親子のつどいに参加したいとおもわれますか。

| | |
|---------------|-----------|
| 1. 参加したい 100% | 2. 参加できない |
|---------------|-----------|

4. その他にご意見、ご要望がありましたら、お聞かせください。

- ・ 親子ともとても楽しめました。体操の時など、周りのお友達をぼーっと見て、自分は積極的に遊べないことが多い子ですが、シャケ先生の時は別人の如く、たくさん動き回ってました！機会があったらまた参加したいです。シャケ先生のつどいは本当に素晴らしい！
- ・ 娘がシャケちゃん大好きなので、小学生になっても参加したいそうです。
- ・ 時間もちょうどよく、プログラムもいろいろな種類があって、とても楽しんでいました!! また参加したいです！
- ・ とても楽しめました。
- ・ 広報がすくないのと、ファクスでの申請は少々分かりづらさがありました。
- ・ また企画してください。ありがとうございました。
- ・ 子どもが楽器が好きなので、本日ギターがなかったのは少し残念でした。
- ・ また定期的にこのようなイベントを設けて欲しいです。

- ・ 募集の方法をファクスでなくお電話で受けていただけるとありがたかったです。とても楽しいひと時をありがとうございました。
- ・ 一つ一つが長すぎた。
- ・ とっても楽しかったです！もうすぐ2歳になる息子もニコニコ!! 全く飽きることなく最初から最後までやるん。また機会がありますように！
- ・ 息子がすごく笑顔で楽しんでいました！ ありがとうございます。
- ・ 体を動かすのが好きなので、とても喜んでいました。
- ・ 今日聴いた歌をおうちでもやろうと思います。
- ・ 次回も楽しみにしています。
- ・ 動き回っても大丈夫だったので良かったです。
- ・ 子どももとっても楽しそうでした。私も楽しかったです。
- ・ 昨年も参加し楽しかったので今年も参加しました。子どもも成長し、昨年と違う楽しみ方ができたと思います。家でも歌います。ありがとうございます。
- ・ (第7回目の時シャケ先生が指を怪我していてギターが弾けなかったので) 早く良くなりますように！